

理科・環境教育助成 成果報告書

第5回 期間：2008年11月～2009年10月

氏名：川松恭治

所属：横浜市立樽町中学校

課題：個に応じた指導の充実のため、IT技術を活用した指導方法の開発

1. 課題の主旨

生徒一人ひとりの実態に即したきめ細やかな指導の充実のために、これまで少人数指導や習熟度別指導を、単元や場面にに応じて取り入れた教育課程の実践を行ってきた。その中で、個に応じた指導の充実を図るためにもIT技術を活用した指導が有効であることが分かってきた。

教科の特性をいかし、より良い指導計画を作成し、理科好きな子、理科を得意とする子をひとりでも多くしていく中から、さらに子ども一人ひとりの学力の向上をねらいとしている。

2. 実践内容

「個に応じた指導の充実～IT技術を活用した指導方法の開発」を研究主題として1年・2年・3年と研究授業を行った。

主に1年生では、生徒の状況を把握する意味でも、最初の単元である「植物のくらしとなかま」では、ティームティーチングでスタートし、野外観察では少人数と学習形態をかえて行った。観察・実験では1枚レポートに取り組み、操作手順・注意事項を事前に確認し、結果・考察を自分のことばでまとめさせていく中から、個に応じた指導を行うため生徒の能力を二人の教師で確認していった。

3. 実践成果

少人数指導や、ティームティーチングを単元や場面に取り入れた学習を実践する中で、生徒一人ひとりの実態に即したきめ細かな指導が実現できた。今後化学分野では、実験結果をパソコンを使ってデータを取りながら考察を行うなどの活用を行っていきたいと考えている。また3年生では、「地球と宇宙」の単元での視聴覚教材を活用した指導方法の実践を行っていききたい。

4. 今後の課題と発展

今年度は、1年生から3年生まで個に応じた指導の充実を中心に行ってきたが、IT技術を活用した指導を展開するために各学年で取り組んだことを共有する中で次年度への指導方法の発展につなげていきたい。

このような機会を与えて頂き、大変感謝しております。今後もさらに研究を深め、一人ひとり分かる、楽しい理科教育を目指したいと思っています。